



114
A 798
15

極秘

明治三十一年九月一日馬尼刺發

陸軍砲兵大尉時澤右一第五十四報告

一 比律賓革命黨ハ目下馬尼刺ニ於テ諸州ノ有望

家ヲ集メ一大會議ヲ開キツ、アリ議題ハ明瞭ナラ
サレモ當群島獨立ニ就キ米ヲ保護者ト為スヘキヤ
否ヤハ其問題中ノ重要ナル者タルヤ疑ヒ無シ
傳聞スル所ニ拠テハ米國ヲ斥ケテ我日本ヲ保護者
ト仰ク一ニ衆議院ト一決セント為レツ、アリ然
レモ彼等ノ最モ踴躍スル所ハ我日本カ果シテ保護
者タル一ヲ承諾スヘキヤ否ヤ并ニ我カ比律賓
ニ對スル態度ノ極メテ冷淡ニモテ其真意ノ明瞭ナ
ラサルニ在リ為メ群議未ク決セズ都合ニ依リテハ

第一種

第一二一三



會長「サンデー」(Sandwich)なる者ヲ我日本ニ使
ハシテ哀願スル筈ナリ
ニ、革命黨ハ獨立ヲ宣言シ其宣言書ヲ各國政府ニ
送付中ナリ其宣言書ハ別冊ノ如シ
三、メリットト將軍當地出發前「アギナルド」ニ向ヒ公
等若シ余ニ委任スル所アラハ余ハ比律賓人氏ヲ代
表シ巴理ノ會議ニ於テ比律賓ノ幸福ヲ取計フ
可シト言ヒシニ「アギナルド」ハ之ヲ衆議ニ向ヒ後々
左ノ如ク之ヲ斥ケタリ曰ク若シ比律賓人ニシテ巴
理ノ會議ニ列席スルヲ得ハ閣下ニ委任スルモ可ナリ
否ラサル以上ハ委任シ難シト而シテ結局「メリット」ハ
比律賓人ヲ會議ニ列席セシムルヲ華盛頓政
府ニ紹介スヘシト言ヒ遺シテ出發セリト云フ

巴理會議ニ五人ノ列席スルハ米西政府モ承諾セサ
ルヘク時日モ之ヲ許ササルヘシ又土人モ決シテ此事ナキヲ
覺悟シ居レリ
四、土人ハ巴理會議ニ何事モ申出テス又注文モセス
土人ノ先覺者々米國ノ保護ヲ喜ハサル原因ハ種々
アリト雖モ其首モナルモノハ排異血思想及蒙昧ナル
土民カ米ノ政策ニ陥リ甘ンシテ其統治駕馭ニ安ン
シ遂ニ起ツ時ナカランテ憂フルモ在リ此憂懼ハ實ニ
至當ノ憂懼ニシテ吾人日本人モ決シテ輕々ニ看過ス
可ラス抑モ比律賓人カ西班牙ノ虐政ヲ蒙ルニ三百
年一旦之ヲ米國統治ノ下ニ置カハ猶ホ赤子ノ慈母
慕フカコトク遂ニ彼カ爪牙ト為リテ終ランノニ惡ン
ソ今日ノ如ク獨立ヲ呼籲スルノ勇アラシヤ一タヒ此地

ニ歐米人ノ勢力カラ植ヘハ牢トシテ遂ニ抜ク可ラス其特
ニ及ンテ悔エルモ亦タ及フ可ラス況ンヤ比律賓人ハ
其性温良ニシテ勇猛東洋中支那人ヲ除ケル持リ
此人種アルノミ蓋シ東洋ニ覇タラント欲スル者ハ決
シテ此人種ヲ藥籠中ニ収ムルヲ忘ル可ラス
排異血主義ハ曾テ彼等ニ白ヒ諷語セシニ頗ル彼等ノ
歡迎賛同スル所ナリシ今ヤ往々日比清同盟説ヲ主張
スル者アルニ至レリ今回ノ戦亂中土人能ク「アギナルド」ノ
命令ヲ守リ毫モ支那人ヲ苦シメサリレハ排異血主義
ノ一般ニ傳播シアルヲ證スルニ足ル蓋シ古ヨリ比律賓
ノ反亂ト云ヘハ支那人ノ虐殺必ラス之ニ伴フ今回ノ如
キハ曾テ有ルヲ無シ

六、革命黨ノ勢力ハ呂宋全島（「カガヤン」州ハ不日平定ス）

「ミンドロ」島及「ビサヤス」群島中ノ二三嶋ニ及フ
「イロイロ」ニハ尚ホ西班牙政廳アリ西砲艦一隻及陸
兵若干アリ獨逸軍艦一隻常ニ碇泊シ暗ニ之ヲ保護スル
ノ色アリ其他三四ノ獨艦絶ヘス群島間ヲ游弋シツ、
アルモノ、如シ
又獨逸領事ハ馬尼刺陥落前（七月上旬）西班牙政
府ト反徒トノ間ニ調停ヲ試ミ反徒ニ斥ケラレタルヲア
リ
七、革命黨ハ二萬六千餘ノ小銃ト二百萬發ノ彈藥原
料ヲ有ス既成彈藥ハ大ニ欠乏セリ
八、過日報告セシ「マロロス」ハ「ブラカン」州ノ首府ト為スニ
非スレテ革命黨政府ノ首府ト為サントスルナリ「ア
ギナルド」等ハ遠カラズ此ニ移ル可シ

九、革命黨ハ巴理ニ於テ談判結了以前ニ「ビサヤ」諸島及其他ノ諸島ヲ征服セント意氣込ミ居レリ
 十、比律賓ニ對スル「メリット」氏ノ意見ハ領有ニアルモノ。如シ(占領ニモセヨ保護ニモセヨ)直接ニ同氏ヨリ之ヲ削カサレモ幕僚ノ語氣ニ依テ推察ス (終)

第五十四報告附録

外國政府ニ告グ

曩キニ比律賓群島革命政府ヲ創設スルニ方リ本年六月廿三日ノ教書ヲ以テ革命ノ依テ起リタル所以及ビ島民這般ノ行為ハ「自由ノ規範ニ準據シ以テ開明ノ域ニ達セントスル」希望ニ他ナラザルヲ示シタリ
 今ヤ此革命ハ「カウイテ」「バタンガス」「ミンドロ」「ダヤバス」「ラゲナ」「ロング」「アラカン」「バタートン」「バムバムガ」「ヌエーバエレーハ」「パンガレナ」「ウニラン」「インフアンタ」及ビ「サンパレス」ノ諸島ニ傳播シテ尽ク之ヲ領有シ馬尼刺市ヲ包围セリ而シテ此各島ノ本年六月十八日及ビ廿三日ノ布告ニ法トリ新ニ官吏ヲ撰奉シ之ガ行政ノ任ニ當ラシメタリ如斯シテ諸島到ル處秩序整然毫無紊乱、下ノ黎民其堵ニ安シタリ
 加之約九千ノ戰時捕虜ハ革命政府之ヲ遇スルニ関

明諸國ニ行ハル、戦時慣例及ビ博愛主義ヲ以テス又
我革命政府ハ戦時三萬ノ常備軍ヲ有ス
右ノ如クナルヲ以テ各カカノ村長ハ比律賓島民自ラ
改権ヲ執リテ之ヲ治ムルコトヲ得ルベシナラス必ラスヤ
自ラ之ヲ執リ之ヲ治メサルヘカラサルコトヲ確信シ茲ニ
革命政府ニ乞フニ比律賓群島ノ獨立ヲ宣言シ且
ツ外國政府ニ向テ交戦権及ビ獨立ノ承認ヲ哀願セ
ンコトヲ以テス下ニ添エル所ノ各村長等ノ署名ハ以テ
其違ハサルヲ証ス
是ヲ以テ下ニ記名スル余ハ比律賓島革命政府ノ
大統領トシテ具有スル所ノ権能ニ憑リ同島民ヲ
代表シ其名義ヲ以テ開明諸國ノ援助ヲ哀願シ
切ニ乞フニ公然革命政府ヲ交ハシ國ト見做シ比律

賓島ノ獨立ヲ認メントラテラス蓋シ開明諸國ハ弱者ノ
正理ヲ扶掖シ強者ノ邪惡ヲ掣シ各國相互ノ均勢ヲ
保持シ以テ人類無窮ノ進化ニ對シ完全ナル正義ヲ
行スベキ皇天ノ使命ヲ帯ブレバナリ

一千八百九十八年八月六日

カウイテ州バコールニ於テ
革命政府大統領 エミヨアギナルト

獨立宣言書

下ニ記セル各村長ハ本年六月十八日ノ布告及ビ同月廿日ノ訓令ニ規定セル手續ニ依リテ村長ニ選舉セラレ本年政府大統領ノ承認ヲ得其ノ面前ニ於テ此誓言ヲ為シタル后テ比律賓群島獨立ノ正式ナル宣言ヲ為スノ目的ヲ以テ豫メ召集セラレタル上大會議ヲ采キ且ツ事最モ重大ニ渉ルヲ以テ慎重熟議ノ上全會一致ヲ以テ左ノ宣言ヲ為ス

夫レ比律賓島ノ革命タルヤ一方ニ於テハ咄嗟ノ方ニ軍隊ヲ編制シタルヲ以テ兵燹ニ乏シク殆ント赤手ヲ以テ大勝ヲ得又他ノ一方ニ於テハ戰陣中戰聞后共ニ敢テ掠奪ヲ恣ニセズ敵ニ對シテハ之ヲ虐待セザルノミカ及テ之ヲ厚遇セリ

以上ノ事實ハ明ニ我比律賓人ハ曾テ吾人ノ信ジタルガ如ク奴隸ノ為メニ生レタルニアラスシテ秩序及ビ正義ノ完全ナル思想ヲ有シ野蠻ノ生活ヲ脱シテ文明ヲ愛スル民タルヲ明ホス

然リ而シテ比律賓島民ガ更ニ驚歎スベキモノアリ即チ現時ノ進歩ニ伴フテ能ク法律ヲ制定シ遵守スルヲ知リ且ツ島民ノ習慣ハ毫モ世界ノ進運ト相及スルヲナク其希望ハ富貴權勢ニアラスシテ獨立自由ニアリ加アルニ愛國心ニ富ミ國家ノ名譽ヲ重シジ之ガ為メニ生命財産ヲ犧牲ニ供スルモ敢テ辞セザルノ民タルヲ表セシト是ナリ此歎賞否ナ寧ろ口驚歎スベキ行為ハ勢ニ比律賓島ヲシテ獨立自由ノ國タラシメザルベカラザルヲ確信セシムルニ至レリ是レ

敢テ獨立國ノ價值アルヲ誇示スルニ非ラスシテ島民ノ決心ハ死ヲ以テ群島ノ將來ト歴史トヲ守護セシメテ覺悟スレバナリ

若シ夫レ個人其福利安寧ヲ計ルニ有刑無刑ノ自由ヲ必要トセバ一國ノ民ガ人類無窮ノ進歩文明ヲ計ルニ自由ト獨立ノ必要ナルヤ明カナリ是レ比律島民ノ確信疑ハサル所ニシテ之ガ目的ヲ達スル途ハ飽マデ戦争ヲ繼續シ如何ナル障害ニ遭遇スルモ一歩モ退クコトナカルベシ
彼レ西班牙人ハ温和ニシテ曾テ自衛力ヲ有セザリシ比律島民ヲ濫ニ縛シテ或ハ之ヲ獄ニ投ジ或ハ之ヲ拷問ニ附シ又ハ之ヲ暗殺スル等暴虐至ラザル所ナカリキ蓋シ西班牙人ハ吾人ガ交戦権ヲ

有セザルヲ以テ此残忍酷薄ナル行為ニ對シ法律上無責任ナリト信ジ及テ徳義上國家ノ名譽及博愛ノアル所ヲ忘レタルガ故ナリ之ニ及シ吾人島民ハ毫モ前陳ノ主旨ヲ變ゼズ獨立自由ヲ得ルヲ目的トシ開明博愛ノ常道ニ軌リ決シテ西人ニ對シ復仇ノ舉止ニ出テタルガ如キコトナカリキ

茲ニ下名者ハ比律島全島民ノ意志ヲ代表シ同島民ヨリ受ケタル委任ト各自ノ職權ニ伴フ所ノ義務ヲ履ミ全世思ヒ對シ聳ンテ獨立ヲ宣言シ「ドン・エミリオ・アギナルド」イブアーニ氏ヲ以テ本年六月二十三日ノ布告及全月廿七日ノ訓令ニ規定セル手續ニ拠リ建設セラレタル革命政府ノ大統領

ト仰ギテ之ヲ奉戴シ且ツ之ニ乞フテ外國政府ニ對シテ
 交戰權及ビ獨立ノ承認ヲ哀願センコトヲ以テ人
 蓋シ此行爲タル固ヨリ正義上ノ義務ニシテ又何人
 ト雖氏天理ニ背キ一國人民ガ改革ヲ行ヒ國位
 ヲ増進セントスルニ當ノ希望ヲ抑壓スルノ權利ナ
 カルベケレバナリ

比律賓群島革命第一年 即一千八百九十八年八月一日

カウイテ州ニ於テ
 マリアノ、ペニヤフロリダ
 ダミヤン、エルミタニヨ
 ロレンス、アンヘレス
 アグスチン、ラモス

カイエタノ、アウレ
 ホアン、ベーイヨ
 ホセイ、キヤントン
 ニゴラス、ゴンサレス

以上「カウイテ」州地方議長ノ署名

マリヤノ、プンサラ
 エウセビヨ、デカストロ
 クリストモ、リエル、イ、リ
 キスト、サヒノーツ
 ラモン、パルメロ、サントス
 ホセ、デレラン、イ、リサル
 プラシド、カムポンス
 シリヤコ、ナサレーノ

キーテリヨ、ラレンポ
 カタリノ、アンテイコ
 ラモン、マカウアス
 ハミント、プリド
 シリヤコ、ベルトラン
 ウイセンテ、カビテイ
 テイス、ステラ、ダイリ
 ホアン、子ポムセノ
 マルセロ、テイグ、イ、チ
 ソン

ロレンニソ、ペラソソ
ヴィクトリノ、ホタクルス
ロムロ、メルカード
ルシヤノ、ウイトー
ポニシヤノ、エンソソ
プルデンシヨランサン
マルテイイン、ガギー
マルテイイン、メルカド
以上「バムバムガ州」地方議長ノ署名
グレゴリヨ、バーサ
カリラスト、サントス
エリヒヨ、ナワール
ペードロ、ラーサロ

署名

エスロリデイヨシ、ファハルド
ドミンガ、スニガ
カイエタノ、ダルス
ホアン、アングロ
フランシスコ、テイソ
グレゴリヨ、キワシヘリスタ
キイン、テイイン、ロメロ

イグナシヨ、サントス
カタソノ、タイロ
ラモン、ライナルド
レブリヤノ、デ、ラーク

レブリヤノ、レイエス
バルビノ、デ、ス、クルス
テラドロ、デ、メーサ
バルタサル、カピストラノ

以上馬尼刺州地方議長ノ署名

署名

リベラド、ラニヤン、
テイモテヨ、ベルナード
ホアキン、ロドリゲス

アイエタノ、ベルナルド
ルイス、アチゴ、テルヒニル
フロイラン、カヒトリヤ
サビノ、カハトリヤ
ホアン、アミタ、ヨクルス
マルティン、イテリヨ
ミグエル、フェンテス
マソヤノ、ラニレス

アケド、ノリエガ
マルティン、ウイアリカ
レモン、テクソン、ラカンホ
マヌエル、ウリ、プーストモ
ホスト、パーラス
フエリ、ニヤノ、テラメルセト
フランスコ、メンドリーサ
タイブルシヨ、ゴンサレス

プブリヨ、ラモス
バブロ、メデイナ

以上「ヌエーヴァエシージャ」州地方議長ノ署名

ホセー・ベア
エピファニヨ、モンテス
テレス、フオロ、フレンコ
イグナシヨ、カバナラン
ペドロ、ウイヤヌエワ
バシリヨ、ゴンサレス
ウルバノ、カルセス
ポンシヤノ、メルテリヨ
ギエルモ、ウイト
フレンシス、エ、レゴレイコ

マメヨ、アペニン

マルセリノ、ホーシ
ペドロ、ラポルド
ヴィセンテ、ポリステイコ
ヤシリヨ、ペーローサ
シクロ、ウスタリス
ルイス、パーテイス
イノセンテ、アルタイス
ホアン、ペラヤフロル
バスクアー、エセテ、ローサ
アントニヨ、フアブリカンテ

ライムント、イバリヤ
グレゴリヨ、アルワンス
コリヤノ、アペロ

以上「ラグナレ」州地方議長ノ署名

エセキエル、アンピル
アポロニヨ、ウイヤルス
セフエリノ、ペレグリナ
アタ子ロ、テ、カムボ
フラウイヤノ、エスタニスラオ
タランキリン、オルサン
クレメンテ、アンタイポルタ
アントニヨ、アウストリヤ

ニコラス、レガテード
ホアンタ、ベイーヤ

エスタニスラ、アンカンタラ
シリヨ、アニユソ
クリス、プロ、クステイデイヨ
ドミンゴ、デルロサリヨ
ブリーヒド、カヒリ
テイモテラ、パサイ

以上「モロング」州地方議長ノ署名

アルテニヨ、ノコンソリマン

パトリシヨ、エミ、ソリマン
フエリ、ペレアル、モリケス
ミゲール、カタルン
ヘロニモ、ウエテス、
エウラリヨ、カルマ
ガブリエル、ガチャリヤン
ホセー、ロレンサナ
マヌエル、ブリヨニス

以上「タルラック」州地方議長ノ署名

ポテニヤ人、イテリヨ
ハシント、テイマクラガン
エラヒロ、アテイエンサ
アガヒト、パニガニバン

セシリヨ、クテリス
パブロ、リウーラ
カイエタノ、シグナ
アグステイン、ガ子
グレゴリヨ、コンセプレヨ
マルセリノ、マラウイア
トトongo、デ、ヴァレリアノ

署名

ドミンゴ、メテイナ
ルベルト、デ、レラン
アミドレス、デ、ヘスース
ヴィセンテ、アルマンソン

フランシスコ、レハノ
ビビヤノ、ロメイ
ルイス、ルーナ
ホアン、フロリダ
ヘローニモ、ラルシーヤ
ベルナルド、ソリス
セレス、グエク、グライニス

以上「バタングス」州地方議長ノ署名

尚ホ此他「シンドロ」
「タヤバス」
「サンバレス」
「バニガスナン」
「ウ
ニオン」
及「インワンタ」
諸州地方議長ノ署名アルモ茲
ニ之ヲ畧ス

エステバン、デ、ウーイヤ
レラン、マテールバイ
シクスト、カステイヨ
タルマシヨ、エルナンデス
シリヤコ、ウウレン
セントニヨ、デ、チャウレス

下署署名
内務長官
本書ハ内務省ニ於テ保管
せん
魚書ノ正実ナル
騰本ナル
コヲ証明
右ノ証
抄

トシテ革命政府大統領ノ捺印ト共署名セリ
一千八百九十八年八月六日
「バコール」ニ於テ

内務長官

レアンドロ・イバーラ

右相違ナキヲ証明ス

革命政府大統領

エミリオ・アギナルド